

Ⅲ. 試験科目・課題等

1. 共通科目 および 2. 学科・コース(専攻)別科目の両方を受験すること。

1. 共通科目

全員受験すること。ただし、音楽総合学科作曲コース志願者は(2)和声を除く。

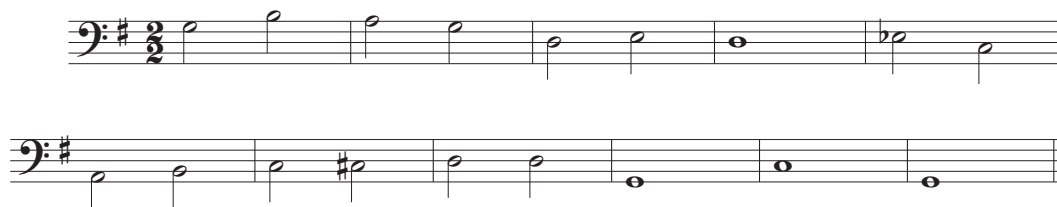
(1) ソルフェージュ

新曲視唱(12小節程度の視唱)無伴奏。唱法は固定ド、移動ドどちらでもよい。次の例題を参照。



(2) 和 声 (50分)

バス課題を実施する。次の例題を参照。



(3) 西洋音楽史 (50分) 中世からロマン派まで。

(4) 外国語(英語) (50分)

(5) 面 接 全受験者に実施。

2. 学科・コース(専攻)別科目

学科・コース（専攻）に応じて受験すること。なお、受験曲は演奏曲目票に記入すること。

【演奏学科】

器楽コース

有鍵楽器専修ピアノ

専攻実技	次の1.および2.（暗譜、繰り返しなし、演奏順は自由）
	1. Chopin : Etudes Op.10 または Op.25 から任意の1曲。ただし、Op.10 No. 6 および Op.25 No. 7 を除く。 2. 任意の独奏曲（同一作曲家で複数曲も可。ソナタからの楽章の抜粋および組曲等からの抜粋も可。ただし、8分程度でカットすることがある。なお、Chopin の Etudes を除く）

有鍵楽器専修オルガン 次の（1）および（2）

(1) 専攻実技	次の1.および2.（暗譜の必要なし、繰り返しなし、演奏順は自由） 1. J. S. Bach : Schübler - Choräle BWV645 から BWV650 までの任意の1曲 2. 任意の独奏曲。ただし、1. で選択した曲と重複しないこと。5分～10分程度。複数曲も可。ソナタからの楽章の抜粋および組曲等からの抜粋も可。ただし、8分程度でカットすることがある。 *アシスタントが必要な場合は本学で用意する。試験当日にレジスタータイムを与える。
	(2) 副科ピアノ 任意の1曲（暗譜の必要なし、繰り返しなし）

使用するオルガンの仕様（事前に練習ができます）

Pedal		I. Hauptwerk		II. Schwellwerk		III. Solowerk	
1. Choralbass	4'	4. Mixtur	3f	9. Terz	1 3/5'	15. Klarinette	8'
2. Violon	8'	5. Larigot	1 1/3'	10. Octave	2'	16. Dolkan	8'
3. Subbass	16'	6. Blockflöte	2'	11. Quinte	1 2/3'		
		7. Principal	4'	12. Offenflöte	4'		
		8. Gedackt	8'	13. Rohrflöte	8'		
				14. Tremulant			

III/II III/I II/I III/P II/P I/P

管楽器専修 次の（1）および（2）

(1) 専攻実技	任意の1曲（10分程度）とする。
(2) 副科ピアノ	任意の1曲（暗譜の必要なし、繰り返しなし）

ピアノ伴奏のある曲で受験をする場合、専攻実技試験時の伴奏者および譜めくりは、必ず受験者各自で同行すること。なお、伴奏者および譜めくりは本学園に勤務する大学教職員を除く。

打楽器専修 次の（1）および（2）

(1) 専攻実技	任意の独奏曲（10分程度。曲数は問わない）とする。 *打楽器は、任意の用紙（A4サイズ、横書き）に受験者氏名、使用楽器の種類、数および楽器等の配置を記入し、出願書類とともに提出すること。
	(2) 副科ピアノ 任意の1曲（暗譜の必要なし、繰り返しなし）

ピアノ伴奏のある曲で受験をする場合、専攻実技試験時の伴奏者および譜めくりは、必ず受験者各自で同行すること。なお、伴奏者および譜めくりは本学園に勤務する大学教職員を除く。

弦楽器専修 次の (1) および (2)

(1) 専攻実技	コントラバス以外は 1. および 2. (暗譜、繰り返しなし)	
	ヴァイオリン ヴィオラ チェロ	1. 任意の練習曲 1 曲 2. 任意の独奏曲 (ソナタを含む)。演奏時間は 7 分程度とする。
	コントラバス	任意の練習曲 1 曲、または任意の独奏曲 (ソナタを含む)
	ハープ	1. N. Ch. Bochsa の練習曲から任意の 1 曲 2. 任意の独奏曲 (ソナタを含む)。演奏時間は 7 分程度とする。
(2) 副科ピアノ	任意の 1 曲 (暗譜の必要なし、繰り返しなし)	

ピアノ伴奏のある曲で受験をする場合、専攻実技試験時の伴奏者および譜めくりは、必ず受験者各自で同行すること。なお、伴奏者および譜めくりは本学園に勤務する大学教職員を除く。

声楽コース 次の (1) および (2)

(1) 専攻実技	歌曲 1 曲およびオペラ、コンサートアリア、オラトリオまたはカンタータのアリア 1 曲の計 2 曲、あるいは歌曲 2 曲 (合計 8 分以内。暗譜) *演奏曲目票の記入に際しては、作曲者名、演奏曲目 (オペラ等のタイトルおよびアリア名) を原語で記入すること。	
(2) 副科ピアノ	任意の 1 曲 (暗譜の必要なし、繰り返しなし)	

専攻実技試験時の伴奏者および譜めくりは、必ず受験者各自で同行すること。なお、伴奏者および譜めくりは本学園に勤務する大学教職員を除く。

【音楽総合学科】

作曲コース 次の (1)、(2) および (3)

(1) 専攻課題	次の A. および B.	
	A. 和声	ソプラノ課題またはバス課題 (3 時間)
	B. 作品提出	自作品 1 曲。楽譜提出を基本とし、音源 (オーディオ CD) を添えても良い。 *受験者氏名を記入し、出願書類とともに提出すること。
(2) 口頭試問	上記「(1) 専攻課題」に関する質問が中心となる。	
(3) 実技ピアノ	任意の 1 曲 (暗譜の必要なし、繰り返しなし)	

音楽教育コース 次の (1) および (2)

(1) 実技課題	前記演奏学科いずれかのコース (専攻) の課題に同じ。ただし実技をピアノとする場合は、下記の実技課題を演奏する。
(2) 口頭試問	教育および音楽教育に関する試問

実技課題 (ピアノ)

次のグループより 1 人の作曲家を選び、任意の作品を演奏する (暗譜、繰り返しなし)。

J. S. Bach、Haydn、W. A. Mozart、Beethoven、Weber、Schubert、Mendelssohn、Chopin、Schumann、Liszt、Brahms、Saint - Saëns、Tchaikovsky、Grieg、Fauré、Debussy、Scriabin、Rachmaninoff、Ravel、Bartók、Prokofieff (5 分～10 分程度。複数曲も可。ソナタからの楽章の抜粋および組曲等からの抜粋も可。ただし、8 分程度でカットすることがある)